

[CSRマネジメント]

社会的責任としての事業継続

万が一の事故や災害。まず第一に守るべきは人命です。
その次に大切なのは、「事業の継続性」です。



どんなときにもムラタは動いている、
それが信頼につながります。

株式会社岡山村田製作所
管理部

磯野 泰英

1990年に村田製作所本社に入社して、主に取り組んだ仕事は環境ISO14001の導入。当時は他社事例も少なく、「走りながら考える」毎日。今も、それが仕事のスタイルになっている。

リスクに気づくための訓練活動に
事業所をあげて取り組んでいます。

災害発生時に関係者の安全確保や会社の資産保全が重要な
のは言うまでもありませんが、製品を安定供給して社会に貢献する
という観点からは、早期に事業所機能を回復し、事業を継続させる
仕組みが不可欠です。2008年度にはもっとも甚大な被害が
予想される地震想定BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画)
を策定。このプランをもとに、試行錯誤を繰り返しながらさまざまな
パターンの避難訓練を実施しています。これまでの訓練で、生産工程
内では設備機器から発生する機械音で緊急放送が聞き取りづら
い場所があること、また、聴覚障害を持つ従業員には情報が監督
者からの間接伝達になり、認識が遅れてしまうなどの問題点が
確認されました。その改善として、2010年度には、緊急地震速報
や火災報知器の信号を利用してライトを点灯させる装置を必要
な箇所に設置し、視覚効果で情報伝達を行う取り組みを進めてい
ます。

Memo

内部統制

村田製作所では、「内部統制管理委員会」などの各種委員会を設置し、グループ全体における業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)の維持と継続的な改善を進めており、特に違法行為などの予防とそれが発見された場合の適切な対応、リスク管理、適時適切な情報開示の体制整備を進める一方で、業務が適正かつ効率的に実行されるよう各業務の枠組み、処理手続、判断基準を定めるとともに、子会社に対しても必要に応じて適切に指導しています。

通報・相談窓口

ムラタでは、コンプライアンスに関する疑問や問題を、メールや電話などで相談・通報できる窓口を設けています。コンプライアンス推進委員会事務局による社内窓口、ダイヤルサービス(株)による「企業倫理ホットライン」のいずれの窓口も匿名で利用でき、相談・通報者のプライバシー保護、相談・通報者が不利益を被らない仕組みを整えています。これらの窓口は、当社の従業員(役員、従業員、臨時員・パートタイマー・嘱託員。ただし退職者を除く)のほか、当社の職場で働く人材派遣会社の従業員、業務請負元の従業員、当社のお客様や仕入先様などの取引先の従業員、その家族も利用できます。